

強靱なインドネシアに向けた日本の協力

～より良く、より安全で、より持続可能な復興～

令和元年5月24日

中部スラウェシ州地震・津波被害及び防災分野における我が国のこれまでの支援概要は以下のとおり。

1. 緊急援助

被災者の命を守るための緊急的な支援。

(1) 国際緊急援助隊派遣【自衛隊部隊】

- C-130H輸送機延べ2機・隊員延べ約70名を派遣し、物資の輸送、被災民及び援助関係者等の移送を実施。

(2) 緊急援助物資供与

- テント、発電機、浄水器等の物資を供与。



※ 日本が支援するASEAN防災・人道支援調整センター（AHAセンター）は、今回の災害の緊急ニーズアセスメントを実施し、緊急援助物資の搬送に加え、国際的な援助搬送の調整を実施。

2. 復旧・復興支援

我が国は復興のための計画策定から実施までの支援をシームレスに実施。

- インドネシアの復興基本計画策定への全面的な支援。
- 上記復興基本計画に基づく、各種復興計画の策定・実施のための技術協力を実施中。
- 中部スラウェシ州パル第四橋再建計画【今年度無償：25億円】
震災で甚大な被害を受けた地域の中核的なインフラ施設であるパル第四橋、周辺道路等の再建・整備。
- 経済社会開発計画（建設重機の供与）【今年度無償：6億円】
被災地の迅速なインフラ復旧に資するために、建設重機（橋梁点検車等）を供与。



3. インドネシア全土の地震・津波対策支援

インドネシア全土で再び地震・津波による大きな被害を出さないための支援。

(1) ハード面の支援

① 防災情報システム強化計画【今年度無償：19.89億円】

- 防災情報処理伝達システムを導入することにより、地震・津波に関する早期警戒情報の伝達対象機関が増加するほか、情報伝達量及び情報伝達速度も向上。

② 広域防災システム整備計画【平成24年度無償：15億円】

- インドネシア全土93サイトに広帯域地震計、強震計などの機材を供与。

(2) ソフト面の支援

① 災害情報の活用に係る能力向上のための協力【技術協力】

- 災害情報を収集・分析し、防災計画の策定に活用・反映させる能力の強化のため、国家防災庁を支援。※プロジェクト開始に向け調整中。

② 地震・津波観測及び情報発信の能力向上に係る協力【技術協力】

- 気象気候地球物理庁の地震・津波観測や分析能力を向上させるとともに、警報の発出手順の改善等を含めた同庁の情報発信に係る能力向上支援を行うもの ※プロジェクト開始に向け調整中。

③ JICA専門家の活用【技術協力】

- 防災のノウハウを持つJICA専門家が国家防災庁、公共事業・国民住宅省等の災害対応・復興等を担う政府機関で活動中。